

(19)日本国特許庁(J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-305945

(43)公開日 平成5年(1993)11月19日

(51)Int.Cl.⁵

B 6 5 D 17/34

識別記号

庁内整理番号

6540-3E

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数 1(全 3 頁)

(21)出願番号 特願平3-360785
実願平3-46141の変更
(22)出願日 平成3年(1991)3月30日

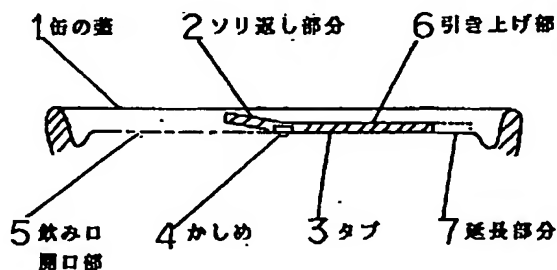
(71)出願人 591133066
久保田 康夫
静岡県清水市本郷町2番7号
(72)発明者 久保田 康夫
静岡県清水市本郷町 2番7号

(54)【発明の名称】 飲料水用缶のソリ返し付押し上げタブ

(57)【要約】

【目的】飲料水用缶の蓋の飲み口の開口用タブを、使用して開口する時のタブに、爪を掛ける不快感をなくし、又、女性、子供、お年寄り等の指先の力の弱い人達でも、容易に開口出来るようにする。

【構成】飲料水用缶の蓋の飲み口の開口用に取り付けられるタブ3に、缶の蓋の飲み口開口部5側へ、ソリ返し部分2を設けたもので、ソリ返し部分2を指で押すとソリ返しの角度で、反対側の引き上げ部6の先端が、浮き上がり隙間に容易に、指先を差し込むことが出来、又、引き上げ部6を伸ばす7事で、てこの原理により、引き上げ部の長くなった分7だけ、タブを起す力が小さくなる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 ソリ返しを設けたタブ3

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】この発明は、飲料水用缶の飲み口の開口に用いられるタブ3にソリ返し部分2を設ける事により、指で押し上げてタブ3を押し易くする事に関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来は、飲料水用缶の飲み口を開けるために、缶の蓋に取り付けてあるタブ3には、ステイオンタブ方式とプルタブ方式とがあり、この取り付けである状態は、いずれも蓋の面に対して、平らに取り付けられていた。この缶の飲み口の開ける動作を分析すると、
(A) タブに爪を掛けタブを浮き上がらせ
(B) タブを指で起し
(C) タブを引き上げ開口する。

以上の動作で飲み口を開ける。最初の動作のタブに爪を掛け易くする為に下記のことがなされていた。

(イ) 蓋の淵よりタブを離して取り付けたもの

(ロ) 蓋の面にくぼみを設けたもの

(ハ) 蓋の面とタブとの隙間を採る為に、タブの引き上げ部の所を折り曲げたもの

しかし、これらはタブを起すのにタブに爪を掛けなければ、タブを起す事が出来ず、爪を掛け易くしただけの物であった。又、環境保全として有効であるステイオンタブ方式の物を取り付けた飲料水用缶の飲み口を開ける為に、タブを最初の動作として浮す時、特に男性の指先の力でも大変で女性、子供、お年寄り等の指先の力が弱い人達には、ステイオンタブ方式のタブを浮き上がらせる事は、非常に大きな抵抗を感じ更に、爪を掛ける事は必要以上に不快感が大きかった。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】従来の飲料水用缶の蓋に、取り付けであるタブで、飲み口を開ける時の最初の動作としてのタブを浮き上がらせる時、どうしても、タブに爪を掛けなければならず不快感を感じる。又、ステイオンタブ方式において、以上の欠点と重り、タブを浮き上がらせる時点に、既に蓋の飲み口を押し切る為の力が、直接加わる為、男性の指先の力でも大変である。環境保全として有効であるステイオンタブ方式の採用のものが、増えていく中で、指の力が弱い人達でも、簡単にタブの引き上げる側をつまみ上げられるようにする事に、各メーカーとも莫大な研究費と試作費を費やして、研究したが解決しなかった。本発明は、こうした使用者の強い要望にこたえる為に発明されたものである。

【0004】

【課題を解決する為の手段】この発明に係るタブは、以上のような課題を解決したもので、今、その構成を説明すると飲料水用缶の蓋1の、飲み口開口用に取り付けら

れるタブ3に、缶の蓋の飲み口開口部5側へ、ソリ返し部分2を設けたものである。

【0005】

【作 用】次に本発明の作用を述べると、飲料水用缶の蓋の飲み口5の、開口用のタブ3を取り付ける為のかしめ4を支点として、ソリ返し部分2を指先で押すと、タブ3の引き上げ部6の先端が、浮き上がり隙間が出来、指先を容易に差し込む事が出来、タブ3の引き上げ部6をつまみ、タブ3を起し、タブ3を引き上げ開口する。

【0006】

【実施例】

実施例1

実施例1に関して説明する。図1は、実施例を示す缶の蓋の断面図で、タブ3に飲み口開口部5側に、ソリ返し部分2を設けたものである。図2に従来の缶の蓋1のタブ3の取り付け及び飲み口を開ける時の状態を示すように、タブ3の引き上げ部6の先端へ、爪を掛け浮かせ隙間をつくる。この爪を掛ける時、爪の先に力が必要となり男性の指の力でも開けにくい、女性、子供、お年寄りの指先の力が弱い人達には、特に大変であり、又、爪を掛ける事による不快感が大きい。以上の欠点を取り除く為の、ソリ返し部分2を設けたタブの使用方を、図3で説明するとソリ返し部分2の所を指先で押す。引き上げ部6の先端が、ソリ返し部2の角度で、浮き上がり隙間が出来る。図4の様に、引き上げ部6の隙間へ、指先を容易に差し込む事が出来、引き上げ部6を起し、タブ3をつまみ上げる。

【0007】実施例2

実施例2に関して説明する。図2の従来の缶の蓋1にタブ3を取り付けた状態は、タブ3の引き上げ部6の先端に爪を掛け易くする為に、蓋の淵より離して取り付けていた。この部分の所が、実施例1により不要となり、図3に点線で示す部分7を伸ばす事により、かしめ4を支点とする、てこの原理により、引き上げ部6が伸びた分7だけ、飲み口を押し切る力を小さくする事が出来る。

【0008】実施例3

実施例3に関して説明する。図5に示すタブ3に飲み口開口部5側と、引き上げ部6の両方にソリ返し部分2を設けたもので、タブ3の飲み口開口部5側のソリ返し部分2を指先で押すと、引き上げ部6の先端が、ソリ返し部分2の両方の角度により実施例1のものより更に、隙間が広くなり指先の差し込みが容易になる。

【0009】実施例4

実施例4に関して説明する。図6に示すタブ3を弯曲させたもので、実施例1・実施例2・実施例3と同じ効果を得る事が出来る。

【0010】

【発明の効果】この発明に係るタブを使用すると、飲料水用缶の飲み口を開く時、タブに爪を掛ける事がな

3

く、爪を掛ける不快感もなくなり更に、タブの引上げ側を長くする事が出来、てこの原理により、蓋の飲み口を押し切る力が小さくてすみ、女性、子供、お年寄り等の指先の力の弱い人達でも容易に飲用することが出来る。

【図面の簡単な説明】

【図1】実施例1を示す缶の蓋の断面図である。

【図2】従来の使用状態を示す缶の蓋の断面図である。

【図3】本発明の使用状態を示す缶の蓋の断面図である。

【図4】本発明の使用状態を示す缶の蓋の断面図である。

4

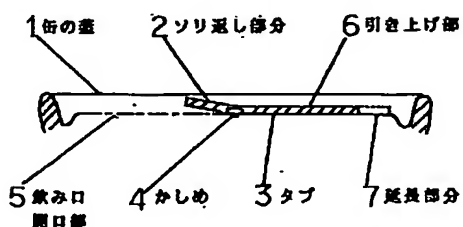
【図5】実施例3を示す缶の蓋の断面図である。

【図6】実施例4を示す缶の蓋の断面図である。

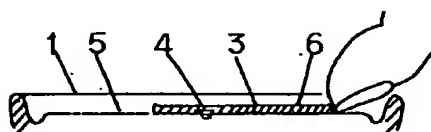
【符号の説明】

- 1 缶の蓋
- 2 ソリ返し部分
- 3 タブ
- 4 かしめ
- 5 飲み口開口部
- 6 引き上げ部
- 10 7 延長部分

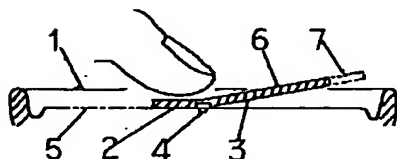
【図1】



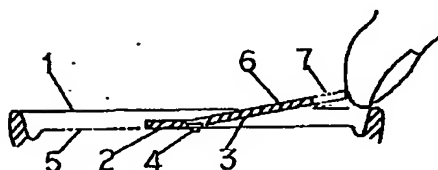
【図2】



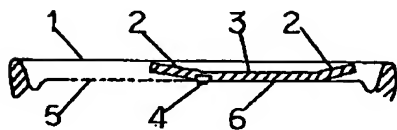
【図3】



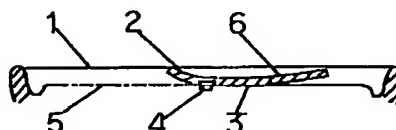
【図4】



【図5】



【図6】



PAT-NO: JP405305945A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 05305945 A

TITLE: PUSH-UP TAB WITH BENDING BACK PART
OF CAN FOR DRINKING
WATER

PUBN-DATE: November 19, 1993

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

KUBOTA, YASUO

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

KUBOTA YASUO

COUNTRY

N/A

APPL-NO: JP03360785

APPL-DATE: December 7, 1991

INT-CL (IPC): B65D017/34

US-CL-CURRENT: 220/270

ABSTRACT:

PURPOSE: To eliminate an uncomfortable feeling to place a nail on the tab when a drinking port of a lid of a can of drinking water is opened using a tab for opening, and also make it possible to easily open the tab even by a person with less power of fingers such as a woman, child or elderly person, etc.

CONSTITUTION: A bending back part 2 is provided on a tab 3 which is attached to an opening of a drinking port on a lid of a can for drinking water, at the

drinking port opening 5 side on the lid of the can, and
when the bending back
part 2 is pressed by a finger, the leading end of a pull-up
part 6 on the
opposite side is lifted at an angle of the bending back
part, and a finger tip
can be easily inserted in the gap. Also, by extending the
pull-up part 6, the
force required to erect the tab becomes smaller by the
extended portion 7 of
the pull-up part, by the extension.

COPYRIGHT: (C)1993, JPO&Japio